

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Gastrointestinal metastases from malignant melanoma.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-13	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Surg Oncol.	
	雑誌 ID		
	巻	4	
	号	2	
	ページ	105-10	
	ISSN ナンバー	0960-7404 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	1995	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Ricaniadis N,	Department of Surgical Oncology, Roswell Park Cancer Institute,
	その他著者 1	Konstadoulakis MM,	
	その他著者 2	Walsh D,	
	その他著者 3	Karakousis CP.	
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	消化管転移切除の予後因子
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	<p>症例数 21</p> <p>根治術ができ、他の臓器に転移なしの患者の生存期間中央値 27.6 月、5 年生存率 28.3%。</p> <p>根治術ができたが他の臓器に転移ありの患者の生存期間中央値 5.1 月。</p> <p>症状緩和のためのバイパス術のみの患者の生存期間中央値 1.9 月</p>
	結論	<p>根治術と他の臓器に転移がないことが重要である。この条件を満たす患者に手術療法を行うべきであり、根治術ができた患者には大きな緩和効果がえられる。</p>
備考		
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	<p>エビデンスのレベル分類 (IV)</p> <p>消化管転移切除の選択基準として、根治術と他の臓器転移の有無が重要であることを示した論文である。症例数が少ない。</p>